

★ここが知りたい!★ 米沢市立病院紹介 ⑥ ☆^{けいせいげ}形成外科編☆

形成外科は、患者さんがもっている体の外観上・機能上の問題解決をお手伝いする診療科です。皮膚科とは異なり、主に外科的治療が行われます。形成外科長の池野由佳医師(写真:中央)にお話を聞いて見ましょう。

※皮膚・排泄ケア認定看護師:渡部香織看護主任(写真:左)、形成外科:澁谷祥子医師(写真:右)



Q 形成外科では、どんな治療・手術が行われているのですか？

A 体表面の病変のほとんどに対して治療を行っています。例えば、外傷、傷跡、熱傷(やけど)、皮膚腫瘍(良性・悪性)、炎症性病変、先天異常等です。その他に、^{えきしゅうしょう}腋臭症(わきが)の手術やピアスホールの作成も行っています。当科では、良性腫瘍(ほくろ等)の切除術が圧倒的に多く、^{かんにゅうそう}陥入爪(巻き爪)も多い手術となっています。また、乳がん手術後の乳房の再建手術も行っています。この手術は、内容によって東北大学形成外科からお手伝いをいただいています。

Q ^{じょくそう}褥瘡(床ずれ)対策チームが行う入院患者さんの回診について教えてください。

A 褥瘡対策チームは、医師や皮膚・排泄ケア認定看護師等の多職種で構成されています。他の診療科に入院中で床ずれのある患者さん全員を回診しています。週1度の回診では、主に除圧・洗浄・軟膏塗布処置等の保存的治療を行っています。

◆問合せ／市立病院総務課経営企画室 ☎22-2450 ◆ホームページ／<http://yonezawa-city-hospital.jp/>

※「ここが知りたい!米沢市立病院紹介」は、毎月1日号に掲載します(10回連載)。